

行政評価票

整理番号【60】

⑤補助金・交付金

予算事業名	教育研究活動事業	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	児童生徒創作ダンス発表大会補助金	作成者(内線)	学事保健係長 森脇昭彦(77-22-467)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計	
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費	
小分類(中施策)	Ⅱ-2-2	確かな学力の定着に向けた取組みの推進	予算費目(項)	01	教育総務費	
個別計画			頁	予算費目(目)	03	教育研究指導費
55億円財源計画						
実施主体	その他		事業区分	任意の事業		
目的	対象	浜田市教育研究会(児童生徒)	意図	児童生徒に創作ダンスの発表の場を与えることにより、積極的に取り組む意欲を引き出すとともに、お互いの良さを認め合うこと、分担した役割を果たすこと、健康・安全に気を配る姿勢を育むこと。		
内容	浜田市教育研究会が開催する「浜田市創作ダンス発表会」の開催費用を補助する。					
開始年度	昭和	年度	根拠法令・要綱等	浜田市教育研究会補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	100	100	100	開催回数	回	1	1	1	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	100	100	100						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	162	159	159						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
参加人数	目標値	500	人	500	500	500	
	実績値	567		498			
	達成度	113%		100%	0%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	創作ダンス大会の取組みは旧浜田市で始まったものであるため参加校が旧浜田市内に限られている。旧那賀郡の参加が望まれる。そのためには指導者の育成と移動手段確保が課題である。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	創作ダンスは学習指導要領の保健体育で位置づけられている種目であり、その促進を図ることは必要である。また、児童生徒の芸術的創作意欲を高めるための方法として有効である。結果として多少の偏りはあるものの出場機会は公平に与えられている。支出は会場借上げ料と講師謝金が大部分を占めており、経費削減の余地はわずかである。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・基本的に全校参加の発表会(授業の一環)に対する助成であり妥当

行政評価票

整理番号【61】

⑤補助金・交付金

予算事業名	児童生徒健全育成事業	010692	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	親の会事業補助金		作成者(内線)	指導相談係長 佐々木 秀樹(471)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-3	一人ひとりを大切にする教育の推進	予算費目(項)	01	教育総務費
個別計画			頁	03	教育研究指導費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	適応指導教室「山びこ学級」利用対象児童生徒の保護者	意図	不登校児童生徒の諸問題に係る支援等を行い、学校復帰を目指す。	
内容	適応指導教室における学校復帰に向けたカリキュラムの他、保護者の主体的な取り組みによる地域との交流や校外活動など幅広い支援活動を行うことにより、義務教育の円滑な進进行を図り一層の学校復帰を促進する。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	親の会事業補助金(内規)	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	57	104	57	不登校児童生徒数 に対する在籍者数	%	17	19	25	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	一般財源	57	104						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	119	163	116						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	不登校児童生徒数	目標値	0	人	0	0	
実績値		65	42		-		
達成度		-	-		-		
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	適応指導教室は、これまで石見公民館細谷分館で実施してきたが、H21年10月から勤労青少年ホームへ移転することとしている(当面は試行移転)。これにより、これまで通学手段や利用時間等の理由により利用が困難だったと思われる児童生徒の利用増が見込まれる。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	カリキュラム以外の地域交流や校外活動等は、地域等の積極的な協力もあり児童生徒の健全育成支援に効果をあげてきたこともあり、継続実施されることが望ましい。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・保護者の活動もある中で必要な助成 ・必要性は認めるものの、支出経費の精査は必要ではないか。

行政評価票

整理番号【62】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校教育振興運営費	10702	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	小学校社会科学習帖作成補助金		作成者(内線)	学事保健係長 森脇昭彦(77-22-467)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-2	確かな学力の定着に向けた取組みの推進	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			予算費目(目)	02	教育振興費
55億円財源計画					
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市教育研究会(児童)	意図	児童に浜田市の歴史・文化・自然を知ることによって郷土を愛する気持ちを育みたい。	
内容	小学校3・4年の社会科の副読本として、浜田市の歴史・文化・自然についてまとめた社会科学習帖を作成し、配布している。浜田市教育研究会が社会科学習帖の内容検討に要する経費を補助するものである。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市教育研究会補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	200	50	40	印刷冊数	冊	444	1,050	550	H19,H21は3年生のみ配布
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	40	50	40						
職員数(人)	0.02	0.05	0.02						
人件費(千円)	123	296	119						
総事業費(千円)	323	346	159						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値		達成度	達成度	達成度	
印刷冊数	目標値	444	冊	444	1050	550	
	実績値	444		444	1050	550	
	達成度	100%		100%	100%	100%	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	市町村合併に伴い平成20年度に改定を行った。その準備のため平成19年度は会議回数等が多く補助額も多くなっている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	児童の郷土愛を育むことは必要なことである。また、社会科の事業にあわせて浜田の歴史・文化・自然を学んでもらうことは有効である。小学校3年生全員に配布することから公平性も保たれている。編集に携わる教職員の事務費として予算は妥当なものである。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・補助金ではなく、担当部署の事業経費(直接執行)が適当

行政評価票

整理番号【63】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校宿泊研修補助金	014076	作成部課	教育委員会 金城分室
補助金名	小学校宿泊研修補助金		作成者(内線)	教育振興係長 金子正志

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-5	安心で安全な教育環境の整備	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			予算費目(目)	02	小学校教育振興運営費
55億円財源計画	6	8	14	小学校宿泊体験学習補助金	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	金城自治区校長連絡会	意図	①人間と自然とのふれあいを深めるとともに、豊かな情操を養う。②集団宿泊研修活動を通して「自立・規律・友愛・協同・奉仕」の精神を養う。③自ら考え、判断し、行動することにより自主的、自発的に行動しようとする心情を養う。	
内容	雲城小学校は毎年5年生で実施。今福、波佐小は合同により隔年で5・6年生が実施。 研修日数:1泊2日 研修場所:江津市 島根県立少年自然の家				
開始年度	昭和	51年度	根拠法令・要綱等	金城自治区教育振興補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21 目標	備考
事業費(千円)	126	46	114	補助金(雲城) 補助金(今福・波佐)	千円	46 80	46 0	52 62	
財源内訳	国県支出金			研修回数(雲城) 研修回数(今福・波佐)	回	1 1	1 0	1 1	
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	126	46						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01	参加生徒(雲城) 参加生徒(今福・波佐)	人	19 34	19 0	22 25	
人件費(千円)	62	59	59	引率職員(雲城) 引率職員(今福・波佐)	人	4 6	4 0	4 6	
総事業費(千円)	188	105	173						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
本事業は金城自治振興基金対応事業であり、補助金額は、合併後5年間(平成22年度まで)は現行の1人当たり2,000円とする。	目標値	126	千円	126	46	114	平成23年度以降は、1人当たり1800円とする予定。
	実績値	126		126	46	114	
	達成度	100%		100%	100%	100%	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの状況変化等	昭和51年度から実施している事業で、この宿泊研修を実施することにより「生きる力」や「協調性」「責任感」が養われている。特に小学生高学年から中学生の間において「規律正しい生活」「友愛」「奉仕」の面においては、この事業の効果が現れている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	金城自治区内小学校独自の事業であるが、学校、家庭、地域への適応や青少年健全育成等にも一役を担っている事業であり必要と認められるため「必要性」「有効性」「妥当性」を「4」とし「公平性」については、自治区独自のものであるため「2」とした。
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・平成22年度から半減を計画しており適当

行政評価票

整理番号【64】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校教育振興運営費	010702	作成部課	教育委員会 弥栄分室
補助金名	遠足補助金		作成者(内線)	教育振興係長 藤井 雅也 (77-48-18)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-5	安心して安全な教育環境の整備	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			頁	02	教育振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	自治区校長会	意図	社会見学で見聞を広めるとともに公衆道徳を身につけさせる機会とする。また、社会科をはじめとする学習の一助とすることを目的とする。	
内容	貸切バス代の助成 施設入館料の助成				
開始年度	昭和 40 年頃	根拠法令・要綱等	弥栄小・中学校遠足補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	79	92	106	参加人数	人	52	47	50	4年生以下
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	79	92	106						
職員数(人)	0.02	0.02	0.02						
人件費(千円)	123	119	119						
総事業費(千円)	202	211	225						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値		達成度	達成度	達成度	
参加人数	目標値	52	人	52	47	50	
	実績値	52		47	50		
	達成度	100%		100%	100%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】	事業開始からの状況変化 等 自治区内では出来ないことが体験出来る貴重な機会である。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	中山間地で交通の便の悪いところでは、貸切バス代等の助成は必要と思われるので3とした。 また、昭和から続いている事業であるが、補助の見直しがされていないので有効性、公平性、妥当性は3とした。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画が示されており、計画どおり実施すること

行政評価票

整理番号【65】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校教育振興運営費	作成部課	教育委員会 旭分室
補助金名	旭自治区体育活動支援補助金	作成者(内線)	教育振興係 難波泰幸(220)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-5	安心で安全な教育環境の整備	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			頁	02	教育振興運営費
55億円財源計画	65	小学校体育活動補助金の見直し			
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	その他	
目的	対象	旭自治区校長会連絡会	意図	自治区内小学校の連合体育活動の支援に要する経費を補助することにより、児童の体力向上を図り健全な心身の育成に寄与する。	
内容	水泳大会の運営費、各種スポーツ教室講師謝金の補助				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	旭自治区体育活動支援補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	150	101	135						
財源内訳	国庫支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	150	101	135					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)									
総事業費(千円)	150	101	135						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	事務費節減	目標値	円	150,000	150,000	135,000	
		実績値		150,000	100,110		
		達成度		100%	67%	0%	
	目標値						
	実績値						
	達成度						

【現状と課題】 事業開始からの状況変化等
 水泳大会は、旭町時代からの継続事業。(浜田市では水泳大会がないため) 合併後5年で見直しが確認されており、平成23年度から予定していた補助金の10%削減を平成21年度に前倒し。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	児童は水泳大会を目標に努力しており今後も継続したいが、スクールバスの利用方法等を再考し補助金をさらに減額する。
	有効性	3	
	公平性	2	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に見直し済みであり適当。旭自治区の特性を活かしたものと判断 全市的な取組みに

行政評価票

整理番号【 66 】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校教育振興運営費	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	高城大会運営費補助金	作成者(内線)	三隅分室長 木村 均(77-32-221)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-4	健やかな育ちを支える食育と体力づくりの推進	予算費目(項)	小学校費
個別計画			予算費目(目)	教育振興費
55億円財源計画	2	8	98	その他運営費補助金の削減
実施主体	その他		事業区分	任意の事業
目的	対象	三隅自治区校長会	意図	・三隅自治区の全小学生が集まり、陸上競技を通じて交流を図る。 ・日ごろの練習成果と記録の向上を目指す。
内容	大会事業費の補助 ・消耗品 ・プログラム印刷費 ・救護費等			
開始年度	平成	19	年度	根拠法令・要綱等 三隅自治区教育振興補助金交付要綱第3条(2)

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考		
事業費(千円)	65	65	65	参加人数	人		239				
財源内訳	国県支出金										
	地方債										
	特定財源										
	一般財源	65	65	65							
職員数(人)	0.00	0.00	0.00								
人件費(千円)	0	0	0								
総事業費(千円)	65	65	65								

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	経費	目標値	65	千円	65	65	
実績値		65		65	65	65	
達成度		100%		100%	100%	100%	
参加児童数	目標値		人				
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧三隅町時代から補助金は全額運営費に当てられている。 ・ 児童数も年々少なくなっており、それに伴い参加児童数も減少している。 ・ 大会新記録も毎年1種目程度で頭打ちになっている。 					

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治区内小学校のスポーツを通しての交流は必要。 ・ 補助金は全額適正に運営費に充てられており有効である。 ・ 児童数が年々減少しているが、経費節減の余地は限られている。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・ 既に削減計画があり適当

行政評価票

整理番号【67】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校教育振興運営費	010702	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	みすみ習字補助金		作成者(内線)	三隅分室長 木村 均 (77-32-221)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-3	一人ひとりを大切にする教育の推進	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			予算費目(目)	02	教育振興費
55億円財源計画	2	8	99	その他事業費補助金の削減	
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	自治区校長会	意図	三隅自治区校長会連絡会に対して、事業に要する経費の一部を補助することによって、三隅自治区の小中学校の教育振興を図る。	
内容	作品審査及び指導講評、書初め課題の研修、書初め特別賞移動展の開催費補助				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	三隅自治区教育振興補助金要綱第3条(3)	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	85	85	85	審査会 作品審査及び指導 講評	回	3	3	3	
財源内訳	国庫支出金			実技研修会	回	1	1	1	
	地方債								
	特定財源			書初め審査会	回	1	1	1	
	一般財源	85	85						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	85	85	85						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	実技研修会・審査会の回数	目標値		回	5	5	5
実績値				5	5	5	
達成度				100%	100%	100%	
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	目標値						
	実績値						
	達成度						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	教育の振興の面で、書道、習字に慣れ親しみ、向上を図ることは必要であるが、公益性に乏しい。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画があり適当

行政評価票

整理番号【68】

⑤補助金・交付金

予算事業名	小学校陸上記録会補助金	10702	作成部課	教育委員会 金城分室
補助金名	小学校陸上記録会補助金		作成者(内線)	教育振興係長 金子正志

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-5	安心で安全な教育環境の整備	予算費目(項)	02	小学校費
個別計画			予算費目(目)	02	小学校教育振興運営費
55億円財源計画	2	8	68	小学校陸上記録会補助金	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	金城自治区校長連絡会	意図	陸上大会への参加を通して、金城自治区内の3小学校の児童相互の親睦とたくましい心身の育成を図る。	
内容	浜田市陸上競技場で開催、記録会での記録により練習等を重ね、全市で行われる陸上競技大会へ参加する。				
開始年度	昭和	44	年頃	根拠法令・要綱等	金城自治区教育振興補助金交付要綱

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	120	120	120	記録会日数	日	1	1	1	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	120	120						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	182	179	179						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標	単位	H19	H20	H21	長期目標等
	本事業は当初、旧金城町の小学校陸上大会として、実施してきた。小学校数も6→3校と減少したため記録会として継続している。	千円	目標値	120	120	
実績値	120		120	120		
達成度	100%		100%	100%		
補助金額は、合併後5年間(平成22年度まで)は現行の120,000円とする。平成23年度以降100,000円とする。	千円	目標値				
実績値						
達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	本事業は当初、旧金城町の小学校陸上大会として、実施してきた。しかしながら、少子高齢化により児童数も減少し合併後、小学校数6→3校となり教職員数も減少し大会を行うことも出来ない状況であり記録会という形とした。全市の大会に向けて、この記録会での記録を参考として練習に励み大会に参加している。					

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	金城自治区内小学校独自の事業であるが、陸上の好きな子供たちは、個人で陸上教室等に参加し好成績を上げている選手や全国大会へ出場する選手もいる。地域住民からも継続を強く要望されている事業であり今後も必要と認められるため「必要性」「有効性」「妥当性」を「4」とし「公平性」については、自治区独自のものであるため「2」とした。
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度以降に見直しを計画しており適当 全市的な取組みに

行政評価票

整理番号【69】

⑤補助金・交付金

予算事業名	中学校教育振興運営費	10712	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	中学校英語キャンプ補助金		作成者(内線)	学事保健係長 森脇昭彦(77-22-476)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-2	確かな学力の定着に向けた取組みの推進	予算費目(項)	03	中学校費
個別計画			予算費目(目)	02	教育振興費
55億円財源計画					
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	教育研究会(生徒)	意図	英語に親しみ、異文化を理解し、英語学習の動機付けとなることを目的に開催している。	
内容	浜田市のALT(外国語指導助手)だけでなく近隣市町のALTを招き、多くの外国人とともにゲームなどを通して異文化、英語に親しむ。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市教育研究会補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	200	190	190	開催回数	回	1	1	1	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	200	190	190					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	262	249	249						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値		達成度	目標値	実績値	
参加人数	目標値	100	人	100	100	100	
	実績値	86		88			
	達成度	86%		88%	0%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	英語に興味を持っている生徒には有益な事業と考えられるが、英語学習の動機付けの点では、参加のしやすさが望まれる。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	英語学習の動機付けとしては必要な方策の一つと考えられる。参加者も比較的多く、有効性は高い。英語に苦手意識を持つ生徒の動機付けになりにくい点から公平性はやや劣る。支出の多くはALTの派遣旅費であり、経費節減の余地が少ないことから妥当性は高い。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・補助金ではなく、担当部署の事業経費(直接執行)が適当

行政評価票

整理番号【70】

⑤補助金・交付金

予算事業名	中学校教育振興運営費	010702	作成部課	教育委員会 弥栄分室
補助金名	遠足補助金		作成者(内線)	教育振興係長 藤井 雅也 (77-48-18)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-1	自然に感動する心・ふるさとを愛する心を育てる教育の推進	予算費目(項)	03	中学校費
個別計画			頁	02	教育振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	自治区校長会	意図	社会見学で見聞を広めるとともに公衆道徳を身につけさせる機会とする。社会科をはじめとする学習の一助とすることを目的とする。ふるさと弥栄の良さを再発見し、郷土愛を育むことを目的とする。	
内容	体験活動にかかる経費の補助				
開始年度	昭和	40年頃	根拠法令・要綱等	弥栄小・中学校遠足補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	80	88	30	参加人数	人	26	38	34	
財源内訳									
- 国県支出金									
- 地方債									
- 特定財源									
- 一般財源	80	88	30						
職員数(人)	0.02	0.02	0.02						
人件費(千円)	123	119	119						
総事業費(千円)	203	207	149						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
参加人数	目標値	26	人	26	38	34	
	実績値	26		38	33		
	達成度	100%		100%	97%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	20年度までは市外へ出かけていたが、21年度からふるさと学習に力をいれ、弥栄内での活動に方針変更したため、補助金額の削減につながった。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	地元の「ひと・もの・こと」に学ぶふるさと学習を推進するために必要なので必要性を3とした。また、昭和から続いている事業であるが、補助の見直しがされていないので有効性、公平性、妥当性は3とした。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画が示されており、計画どおり実施のこと

行政評価票

整理番号【71】

⑤補助金・交付金

予算事業名	中学校教育振興運営費	010712	作成部課	教育委員会 弥栄分室
補助金名	キャリア教育補助金		作成者(内線)	教育振興係長 藤井 雅也 (77-48-18)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-2 生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-3 一人ひとりを大切にする教育の推進	予算費目(項)	03	中学校費
個別計画		頁	02	教育振興費
55億円財源計画				
実施主体	補助【民間その他】	事業区分	任意の事業	
目的	対象 自治区校長会	意図	進路講演会や職場体験をとおして、社会生活向上のルールやマナーを学び、社会人としての資質を身につけることを目的とする。	
内容	社会人(職業人)を招いての講演会。 職場体験実習の交通費助成。 進路指導(高校訪問の実施)			
開始年度	平成 15 年度	根拠法令・要綱等	弥栄中学校キャリア教育補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	60	60	110	進路講演会	回	1	1	1	
財源内訳	国県支出金			職業体験実習	日	2	3	4	
	地方債								
	特定財源			高校訪問	校	8	8	8	
	一般財源	60	60						
職員数(人)	0.02	0.02	0.02						
人件費(千円)	123	119	119						
総事業費(千円)	183	179	229						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	高等学校等上位学校進学率	目標値		%	10	13	
実績値				10	13	17	
達成度				100%	100%	100%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	目標値						
	実績値						
	達成度						

弥栄自治区内には職場体験の受入れ可能な事業所が少ないため、浜田市街の事業所での実習となる。そのため移動のため利用する路線バス代を助成し保護者負担の軽減を図っている。社会性を身につけるためにも本補助金を有効に活用し、個々の進路指導に役立てたい。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	職業体験の受入れ事業所がない当自治区においては体験の場を確保する必要があり必要性は4とした。 なお、本事業は当自治区だけの事業であるが、自治区の実情から活動の場を保障するためにも、有効性、公平性、妥当性を3とした。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・弥栄自治区の特性を活かしたものと判断。また削減計画もあり適当

行政評価票

整理番号【72】

⑤補助金・交付金

予算事業名	中学校教育振興運営費	10712	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	弁論大会補助金		作成者(内線)	学事保健係長 森脇昭彦(77-22-467)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-2	確かな学力の定着に向けた取組みの推進	予算費目(項)	03	中学校費
個別計画			予算費目(目)	02	教育振興費
55億円財源計画					
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市校長会(生徒)	意図	生活の中で感じ、学び取ったことがらを勇気と信念を持って正しく相手に伝える技術を磨き、批判と共鳴の中から正しいものの見方や考え方を養うと共に、社会に貢献することの大切さを考える場とすること。	
内容	市内中学校代表の発表による弁論大会を開催する。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市校長会・教頭会補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	50	50	50	開催回数	回	1	1	1	
財源内訳									
国庫支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	50	50	50						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	112	109	109						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標	単位	目標値	H19	H20	H21	長期目標等	
			開催回数	回	1	1		1
				実績値	1	1		1
				達成度	100%	100%		100%
			目標値					
			実績値					
			達成度					

【現状と課題】
事業開始からの状況変化等
当事業は、市補助金のほか、市社会福祉協議会、浜田青少年健全育成推進会議、青少年育成島根県民会議、浜田地区少年補導員連絡会から支援を得ている。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	正しく相手に伝える技術を磨き、正しいものの見方や考え方を養うと共に、社会に貢献することの大切さを考える場として必要である。また、大会参加者ばかりでなくすべての中学生が各校の予選に参加することを考えると有効性は高く、公平性も高い。支出面でも経費削減の余地はほとんど無く、妥当性が高い。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・補助金ではなく担当部署の事業経費(直接執行)が適当 ・有意義な助成。他団体の交付金もあり、現状のスタイルで良い。

行政評価票

整理番号【73】

⑤補助金・交付金

予算事業名	学校保健管理費	70760	作成部課	教育委員会 学校教育課
補助金名	浜田市学校保健会補助金		作成者(内線)	学事保健係長 森脇昭彦(77-22-467)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-2-4	健やかな育ちを支える食育と体力づくりの推進	予算費目(項)	06	保健体育費
個別計画			頁	01	学校保健費
55億円財源計画					
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市学校保健会(児童生徒)	意図	学校保健に携わる学校医、歯科医、眼科医、耳鼻科医、薬剤師、校長、保健主事、養護教諭、栄養士とPTA会長、市教育委員会が、緊密なる連絡協議のもとに、相互に研究し、学校保健の推進向上を図ること。	
内容	学校保健会は、研究活動として講演会の開催、広報活動として「はまだ保健会報」の作成を行っている。この活動のうち補助金は会報の作成に使われる。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市学校保健会補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	49	48	47	会報	回	1	1	1	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	49	48	47						
職員数(人)	0.02	0.02	0.02						
人件費(千円)	123	119	119						
総事業費(千円)	172	167	166						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	会報	回	目標値		1	1	
実績値				1	1	1	
達成度				100%	100%	100%	
回		目標値					
		実績値					
		達成度					
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	学校保健会全体予算の収入は学校負担(私費)、三師団助成金等で賄われている。浜田市補助金は広報誌の発行にのみ使われるとのことで平成21年より特別会計となった。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	学校医と学校、PTA、教育委員会が連携をとる方法として必要性は高い。主体を学校に置くことで適時会議が行われるので有効性は高い。また、事務を行う団体として最も適していると考えられる。支出も経費削減の余地は殆ど無い。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 補助金は妥当。決算報告が分かりにくい。 補助金の支出根拠が不明確。事業整理する必要あり。

⑤補助金・交付金

予算事業名	生涯学習推進事業	300763	作成部課	教育委員会 生涯学習課
補助金名	浜田市PTA連合会補助金		作成者(内線)	生涯学習係長 馬場正典(77-22-457)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-1	生涯学習の推進と地域活動を担う人材の育成	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-1-1	子どもたちを健やかに育むための家庭教育の充実	予算費目(項)	05	社会教育費
個別計画	浜田市教育振興計画		頁	05	社会教育事務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	PTA、母親委員会	意図	PTAは学校と親を結ぶ唯一の団体であるため、その活動の活性化は学校教育の根幹をなす重要な課題である。併せて、社会貢献活動に寄与してもらうことにより、社会と学校の橋渡し役を担っていただく。	
内容	PTA研修会を計画した場合、最大190,000円を補助する。また、母親委員会の年間活動の助成を行う。				
開始年度	平成	年頃	根拠法令・要綱等		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	250	235	235	PTA連合会研修会の開催費用の助成	千円	200	190	190	
財源内訳					母親委員会活動費の助成	千円	50	48	48
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	250	235	235						
職員数(人)	0.10	0.10	0.10						
人件費(千円)	615	593	593						
総事業費(千円)	865	828	828						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	PTA活動の活性化を図るため、PTA研修会の開催回数	目標値		回数	1	1	
実績値			回数	1	1	-	
達成度				100%	100%		
目標値			回数	2	2	2	
実績値			回数	3	2	-	
達成度				150%	100%		
母親委員会の開催回数	目標値		回数	2	2	2	
	実績値		回数	3	2	-	
	達成度			150%	100%		
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	PTA活動は全国的に低調になっており、継続するのがやっとの状況である。全国にはPTA不要論が出ている学校もあると聞いているが、浜田市では学校を支える保護者活動の大切な団体であると考え。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	PTAは保護者と学校を結ぶための重要な団体と考える。保護者の支援なくして学校の活動は成り立たないため、今後ともPTA活動への支援は必要であると考え。
	有効性	2	
	公平性	4	
	妥当性	2	
2次評価	総合評価	A	平成20年度に補助金カットしており適当と考えるが、事業効果に疑問。

行政評価票

整理番号【75】

⑤補助金・交付金

予算事業名	浜田市駅伝大会補助金	010771	作成部課	教育委員会 生涯学習課スポーツ振興係
補助金名	浜田市駅伝大会補助金		作成者(内線)	スポーツ振興係長 竹中博文(77-22-458)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-3	生涯を通じて活動できるスポーツの振興	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-3-2	スポーツ精神のかん養と競技力向上の推進	予算費目(項)	06	保健体育費
個別計画			頁	03	体育費
55億円財源計画	6	8	5	浜田市駅伝大会補助金	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市陸上競技協会	意図	走ることを楽しみ、市民参加型の駅伝大会をめざす	
内容	1月に開催される市民参加型の駅伝大会として定着をしており、各部門(中学・高校・職域・同好会・一般)を設け、部門ごとの順位を競う。				
開始年度	昭和 38 年度	根拠法令・要綱等	浜田市社会教育関係団体補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	50	48	40	参加団体	団体	94	76	100	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	50	48						
職員数(人)	0.00	0.01	0.01						
人件費(千円)	0	59	59						
総事業費(千円)	50	107	99						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等	
	参加団体の合計	目標値		団体	100	100		100
実績値				94	76			
達成度				94%	76%	0%		
全参加団体に占める部門(職域・同好会・一般)の参加団体の割合		目標値		団体	94	76	80	
		実績値			41	42		
		達成度			44%	55%	0%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	中学・高校年代の冬期トレーニングの一環としての参加が多い。過去の歴史から、市民参加型へと進んでおり、職域・同好会となど、手軽に仲間を組んで参加できる大会となっている。 55億円計画により、補助金の減額が進んでおり、参加費を含めた受益者負担が増加しつつある。							

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	公益性については、議論の余地はあるものの、浜田市の新春恒例イベントとして定着しており、市民の参加も増えている。また、参加のために仲間同士の練習会が頻繁に行われており、スポーツ振興にも大いに寄与している。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・平成20年度及び平成21年度にそれぞれ見直しがされており適当。平成24年度には更なる見直しが計画されている。

行政評価票

整理番号【76】

⑤補助金・交付金

予算事業名	社会体育推進事業	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	柔道協会活動補助金	作成者(内線)	教育振興主任主事 谷崎英規(77-32-223)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-3	生涯を通じて活動できるスポーツの振興	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-3-2	スポーツ精神のかん養と競技力向上の推進	予算費目(項)	06	保健体育
個別計画			頁	03	体育費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市スポーツ少年団本部長	意図	・石見地域のスポーツ少年団・教室等の親睦・交流と青少年の健全育成を図る。 ・日ごろの練習成果の発表の場として技術の向上と目指す。	
内容	大会事業費の補助 ・報償費・消耗品費・役務費 等				
開始年度	昭和	62年度	根拠法令・要綱等		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	80	76	50	チーム数	チーム	11	10	15	
財源内訳	国県支出金			参加人数	人	184	164	240	
	地方債								
	特定財源								
	一般財源								
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	80	76	50						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	チーム数	目標値		チーム	15	15	
実績値				11	10	15	
達成度				73%	67%	100%	
参加人数	目標値		人	200	200	200	
	実績値			184	164	240	
	達成度			92%	82%	120%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	昭和62年から開催しており、歴史はある。予算においても、当初と比較すれば、年々削減し、自主運営も考えている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	青少年の健全育成を目的としているため、必要性、有効性はあるが、公平性から見たら欠ける点がある。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画があり適当

行政評価票

整理番号【77】

⑤補助金・交付金

予算事業名	社会体育推進事業	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	つつじ祭協賛親善ゲートボール大会補助金	作成者(内線)	教育振興主任主事 谷崎英規(77-32-223)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	II	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	II-3	生涯を通じて活動できるスポーツの振興	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	II-3-1	心身の健康を養うスポーツ・レクリエーション活動の推進	予算費目(項)	06	保健体育費
個別計画			頁	03	体育費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	県内のゲートボール愛好者	意図	三隅つつじ祭に併せイベントの宣伝を目的とともにゲートボール競技を通して親睦と健康増進・体力の向上を図る。	
内容	県内のチームを対象に、ゲートボール競技をとおして交流を図る。また、チームに対して恒例の三隅つつじ祭を宣伝・広報して参加を促す。				
開始年度	平成	7年度	根拠法令・要綱等		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	70	66	60	参加チーム	チーム	65	60	55	
財源内訳	国県支出金			人数	人	350	330	282	
	地方債								
	特定財源								
	一般財源								
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	70	66	60						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	参加チーム	目標値		チーム	65	65	
実績値				65	60	55	
達成度				100%	92%	85%	
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	5月のつつじ祭りのPRと交流、健康づくりのため、旧三隅町時代から大会を実施している。参加者の高齢化に伴って、年々チーム数、参加者は減少している。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	島根県内からチームが集まってきており、つつじ祭りのPRには有効性がある。補助金の性格から見れば公平性や妥当性は低く、将来的には廃止の方向でいく。
	有効性	3	
	公平性	2	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画があり適当

行政評価票

整理番号【 78 】

⑤補助金・交付金

予算事業名	文化振興事務費	010733	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	石州半紙技術者補助金		作成者(内線)	三隅分室長 木村 均 (77-32-221)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ 豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅱ-4 歴史・文化の伝承と地域性豊かな文化の創造	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	Ⅱ-4-3 地域に息づく自然と文化の再発見とその蓄積	予算費目(項)	05	社会教育費
個別計画		頁	06	文化費
55億円財源計画				
実施主体	補助【民間その他】	事業区分	国県の法令等に基づく義務的事業	
目的	対象 石州半紙技術者会	意図	重要無形文化財である石州半紙の技術伝承、品質管理、保存を行う。	
内容	伝承者の育成、品質管理検査、研修会、文化財視察研修、資料収集(石州半紙の保存)の補助			
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等 文化財保存事業補助交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	166	166	166	研修会回数	回	9	9	9	
財源内訳	国県支出金			品質管理検査回数	回	4	4	4	
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	166	166						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	166	166	166						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等	
	研修会の回数	目標値	9	回	9	9	9	
実績値		9		9	9	9		
達成度		100%		100%	100%	100%		
品質管理、検査		目標値	4	回	4	4	4	
		実績値	4		4	4	4	
		達成度	100%		100%	100%	100%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	今日、生活様式や社会環境の変化に伴い、後継者不足や売り上げの減少、原材料の入手困難といった課題が生じており貴重な伝統工芸技術の保存や伝承は容易でない。 今年、ユネスコ無形文化遺産の登録予定があり、正式決定されると、後世に伝える文化財として世界的に認知されることで技術社会の大きな励みとなるとともに、その波及効果が期待できる。							

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	技術者会としても、厳しい状況の中、伝承者育成のための研修会や実技研修、視察研修なども行い独自の取り組みで努力している。必要性、有効性などすべてにおいて高く評価している。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・石州半紙の技術伝承など補助事業としての意義、必要性が高い。 ・国県からも補助金拠出があり継続が妥当

行政評価票

整理番号【79】

⑤補助金・交付金

予算事業名	同和教育推進事業	010751	作成部課	教育委員会 三隅分室
補助金名	学校同和教育指定校補助金		作成者(内線)	三隅分室長 木村 均 (77-32-221)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	VI	市民とともに創り育てるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	VI-2	人権を尊重するまちづくりの推進	予算費目(款)	10	教育費
小分類(中施策)	VI-2-1	すべての人が大切にされる人権啓発の推進	予算費目(項)	05	社会教育費
個別計画			予算費目(目)	04	同和教育費
55億円財源計画	2	8	99	その他事業費の補助金	
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市立三隅小学校長	意図	同和教育を推進する小中学校に対して、事業に要する経費の一部を補助することにより、同和問題に対する理解を深め、解決に向けて実践活動することを目的とする。	
内容	人権標語コンテストへの応募、人権を考える集いへの参加、同和教育研修会、思いやり集会の補助				
開始年度	平成	19	年度	根拠法令・要綱等	学校同和教育指定校補助金交付要綱

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	95	95	95	校内人権・同和研修会	回	3	3	3	
財源内訳	国庫支出金			心を結ぶかけ橋編集	回	1	1	1	
	地方債				思いやりのしおり作成	回	1	1	1
	特定財源								
	一般財源	95	95	95					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	59	59	59						
総事業費(千円)	154	154	154						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標			単位	H19	H20	H21	長期目標等
	研修回数	目標値				3	3	3
実績値					3	3	3	
達成度					100%	100%	100%	
文献・資料作成冊数	目標値				2	2	2	
	実績値							
	達成度				0%	0%	0%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	旧三隅町時代から長年取り組んできている。学校教育においては、同和教育をすべての教育活動の基底に捉え、同和地区児童生徒をはじめすべての児童生徒の進路保障を努めるとともに、人権意識を高め、差別の解消に積極的に取り組む児童生徒の育成を図っている。							

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	三隅自治区小中学校独自の人権同和教育研修会行い、指導者の人権意識の高揚、指導力のレベルアップを図っており、必要性、有効性は高い。三隅自治区の独自性があり公平性に乏しい。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	既に削減計画があり適当